

平成二十八年年度 小論文試験

受験番号
氏名

次の文章を読み、問いに答えなさい。

社会における科学者の責務とは何でしょうか。科学者には、その英知をもって新たな発見をしたり、社会が抱えるさまざまな課題を解決してほしいという社会からの期待があります。こうした期待に応えることが一つの責務といえるでしょう。また、その過程において公的な研究資金を使用するケースも多いだけに、そうしたものに込められた社会からの期待についても自覚しておかなくてはなりません。さらに、自分が携わる研究の意義と役割を一般に公開し、かつ積極的に分かりやすく説明すると共にその研究が人間、社会、環境に及ぼしうる影響や起こしうる変化を中立性・客観性をもって公表し、社会との建設的な対話を行っていくことが求められています。科学はさまざまな形で社会に貢献しています。この中で科学者は自分が生み出す専門知識や技術の質を担保する責任を持ち、さらに自分の専門知識、技術、経験を活かして、人類の健康と福祉、社会の安全と安寧、そして地球環境の持続性に貢献する責任を持っています。このため科学者は、常に正直かつ、誠実に判断、そして行動し、自分の専門知識・能力・技芸の維持向上に努め、科学研究によって生み出される知の正確さや正当性を科学的に示す最善の努力を払うことが求められます。また、科学技術と社会・自然環境との関係を広い視野から理解し、適切に行動することが求められています。さらに、科学者の意図に反して研究成果が悪用されるという可能性も、深刻な問題として登場しています。科学者はこのような研究の両義性についても認識しておく必要があります。

科学研究は科学者同士がお互いの研究に対して信頼できるということが前提で成り立っています。このため、科学者には誠実さをもって研究の立案・計画・申請・実施・報告にあたることを求められます。科学者は研究成果を論文などで公表することで、各自が果たした役割に応じて功績の認知を得ますが、同時に論文の内容について責任を負っています。科学研究の不正行為はあってはならないものであり、科学者は責任ある研究を実施し不正行為を防止できるような、公正を尊ぶ環境の確立と維持に向けて貢献することも自分の重要な責務の一つであることを自覚し、科学者コミュニティ、所属組織、自らの研究室などにおいて誠実な研究活動のための研究環境の質的向上と教育啓発に積極的に取り組むことが求められます。そして、科学者は他の科学者の研究成果や業績を正當に評価し尊重することが必要です。他の科学者の成果を適切に評価あるいは批判する一方で、自分の研究に対する批判は謙虚に耳を傾け誠実に建設的な意見を交えることが求められます。このような過程の中では当然のことですが、国籍、ジェンダー、年齢、地位、経歴などによるバイアスを設けず、科学的方法に基づき公平に対応していくことも重要です。また、研究に関して、個人と組織、異なる組織間、さらには個人の持つ複数の使命の間で利害が対立することもあります。こうした際にも科学者として公正に判断することが求められます。さらに、科学者コミュニティ、特に自分の専門領域については科学者間で行う相互評価の場に積極的に参加していく必要があります。それができるのはその領域の科学者だけなのです。

(独立行政法人 日本学術振興会 『科学の健全な発展のために』編集委員会)

問一 この文章の内容を40字以内でまとめなさい。

問二 「科学研究の不正行為」とはどのようなことか、具体的に100字以内でまとめなさい。

問三 この文章を参考にして科学の健全な発展のために科学者に求められていることについて、あなたの考えを300字〜400字にまとめなさい。

